

(別紙)

令和8年度 丹波の森もりびと賞 受賞者一覧

区分	受賞者名 (敬称略)	代表者 (敬称略)	住所	主な活動内容
1	モリタ タダン 森田 忠	モリタ タダン 森田 忠	丹波篠山市川原	福住地区まちづくり協議会の役員として、長きに渡り福住地区の歴史豊かな地域づくり等に取り組み、福住地区の活性化に大きく寄与されました。とりわけ、福住まちなみ保存会での活躍はその中核を成しています。福住まちなみ保存会は、2012年に福住が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことを機に、地域住民によって設立された組織です。 毎月定例役員会を開催し、町並み景観の保全、住環境整備、魅力的なまちづくりを推進しています。保存修理事業の候補物件選定、現状変更行為の審査、自主・共催事業の企画・実施、他地域の保存団体との交流などを実施し、建築士や丹波篠山市と連携しながら専門的で継続的な活動を展開。これにより、町並み保存と活性化、新たな魅力創出、移住者・関係人口の増加に大きく貢献しています。 このように設立時から理事、会長、そして現在は顧問として保存会の中核を担うとともに、地域活動を行う福住地区まちづくり協議会の事務局長・会長として、ソフト面の充実にも尽力されました。具体的には、街並み案内人グループの活動、田舎暮らし体験住宅の運営、空き家活用など、福住地区の歴史的資源を活かした立体的な取り組みを推進。令和5年には、全国伝統的建造物群保存地区協議会総会が丹波篠山市で開催され、視察研修地となるなど、福住地区の魅力向上は丹波篠山市の全国発信にも寄与しています。 特に2012年に福住が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことを機に、地域住民によって設立された福住まちなみ保存会の設立当初から、町並み景観の保全、住環境整備、魅力的なまちづくりを推進しています。これにより、町並み保存と活性化、新たな魅力創出、移住者・関係人口の増加に大きく貢献しています。
2	カジワラサトヤマクラブ 梶原里山倶楽部	ダイヒョウ アラキ タケオ 代表 荒木武夫	丹波市市島町梶原	梶原の民家、田畑は、里山に面しており、昔（昭和30年代以前）は、生活の一部に里山があり、綺麗に整備されていましたが、プロパンガスの普及や、化学肥料が使用されるようになってからは、山に入らなくなり、山は荒れ放題、動物による農作物の被害が多くなり、動物防護柵を平成29年度に設置いたしました。それと合わせて、バッファゾーンを設け、人と動物の生活エリアを分ける事で農作物の被害を無くす目的で、梶原里山倶楽部を立ち上げました。 メンバーは、山の持ち主、及び、この取り組みに賛同したもので構成しております。年齢層は、60歳代から70歳代が中心で、30歳代が1名、最高齢は、90歳代が1名、合計19名で、10月から2月まで週末活動しています。 最初の6年間は、集落を取り巻く山林2,000m、麓から10m、20,000㎡を、雑木、草刈り、竹林の整備を取り組みました。昨年度からは、麓から20mに範囲を増やし、バッファゾーンを広げました。 今後については、山道を作り、子供達が安心して山で遊べる環境を整えていきたいと思っています。

*個人及び団体毎、各五十音順に記載しています。表彰についても、この順序で行います。